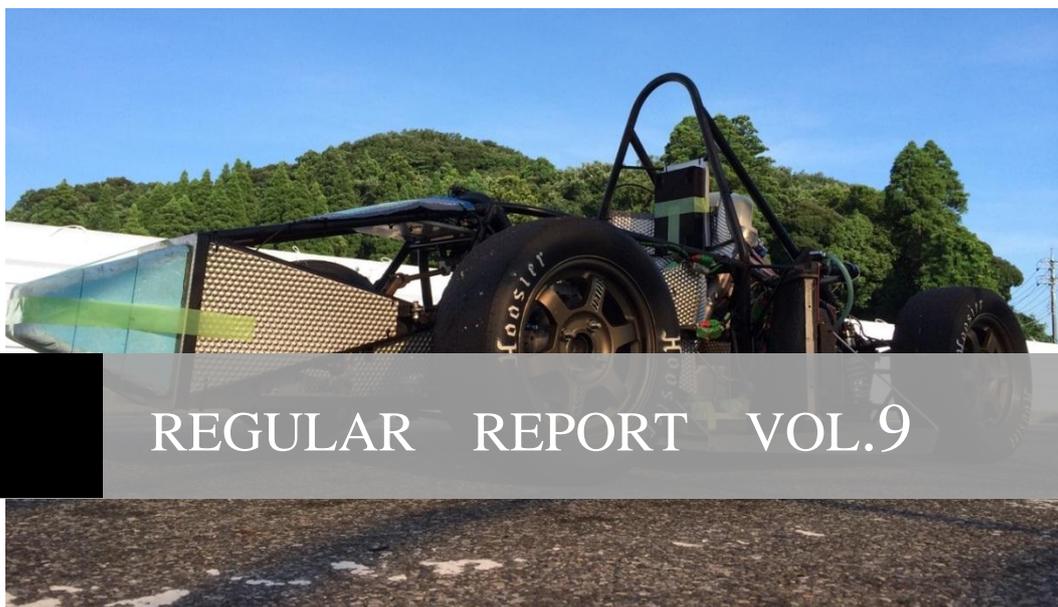


2014 年 8 月



CUFP

REGULAR REPORT VOL.9

Chiba University Formula Project 2014

CF14 設計・製作レポート

今月も、開発、および設計製作の現状をお伝えいたします。

1.製作

角田 有(情報画像学科3年)

7月の初旬はブレーキラインのエアを抜いても圧がかからず、ブレーキがきかないという問題が起り、ブレーキの調整を主に行っていました。マスターシリンダーのエア抜きを行うことで解消され、7月12日に学内でのブレーキテストが成功しました。7月の間で様々な部品が新たに組み付けました。樹脂で新しく作っていただいたサージタンクが届き、新しく燃料レールも組み、アンダーパネルも作成しました。これらの部品を載せ、7月26日に行われたエコパでの試走会では大きなトラブルなく、無事に走ってこることができました。

作成依頼をしていたハブやアップライトなどのアップデートパーツはもう少しで完成します。8月4日～の富士試走会には間に合いませんが、21日～の茂木試走会には、ほとんど大会仕様のマシンで臨めると思います。



ブレーキテストの様子



カウル製作風景

活動レポート

ここではチームの活動について紹介していきます。

1. サス・アライメント講座

日下 直也(機械工学科1年)

6月28日にツインリンクもてぎで行われたサス・アライメント講座に、千葉大学フォーミュラプロジェクトより2年生1名と1年生2名の計3名が参加しました。内容は、座学でサス・アライメントについての理論や計算式を学び、その後実際に計測の体験をするというものでした。座学の理論や計算式の話はとて難しく、4月から活動を始めた自分たち1年生にとって、これから車の知識を増やしていくよい機会となりました。また、計測の体験では、積極的に参加することができ、楽しく計測の方法を学ぶことができました。今回学んだ計測の方法をチームで活用していきたいです。

今回、サス・アライメント講座に参加して、足回りの難しさを実感しました。この経験を生かして、これからサス班としてチームに貢献できるように成長していきたいです。

2. プレス発表

稲垣 友梨(機械工学科4年)

去る6月30日、公益社団法人自動車技術会様本部にて開催されたプレス発表に参加して参りました。私たち千葉大学フォーミュラプロジェクトの他、横浜国立大学・上智大学の方々が参加しました。当日は自動車技術会会長の方のお話や全日本学生フォーミュラ大会の概要の説明の後、20名ほどの記者の前で各チームの2014年の活動内容についての発表を行いました。

今年度プレゼンテーション審査担当ということで参加させていただきましたが、人前で発表経験が少なく思うようなプレゼンテーションが出来ませんでした。ここだけは伝えたいというポイントを明確にし、練習を重ね場馴れすることで人に伝わるプレゼンテーションが出来るようにしたいです。このような機会を与えて頂けたことに感謝し、より一層頑張って活動していきたいと思えます。



3.エコパ合同試走会

上野 涼(機械工学科 4 年)

7月26、27日に中部支部主催のエコパ合同試走会が行われました。4年生の大学院入試と重なり、26日のみの参加となりました。前回のエコパ試走会の反省を生かし、事前に茂原ツインサーキットでテスト走行を行い、準備万全の状態での臨むことが出来ました。1日目だけの参加でしたが、参加校の中で最も周回数を重ね、有意義な試走会となりました。

トップ校とはまだまだ差がありますが、課題も多く見つかри、これからの追い込み次第では十分に上位を狙えると感じられました。また、走り込みによるセッティングと新パーツ導入によって、高速区間とスラロームが以前より良くなりましたが、あまり考慮できていなかった低速コーナーでの動きの悪さが露呈しました。今後は、低速コーナーでのタイム短縮を目標に、サスペンションセッティングを煮詰めていきたいと思ひます。

今回の試走会には4人の1年生も参加し、運営スタッフおよび参加校のタイム計測をやらしてもらいました。CUFPのマシンが走行する姿を存分に見せられたことを誇らしく思うとともに、他大学から刺激を受け、もっと学生フォーミュラを好きになって欲しいと願ひます。

次回の走行は富士試走会です。テスト期間と重なり5人で臨む試走会ですが、車検で指摘されたパーツの修正と、効率の良い走行計画を練って、有意義な試走会になるよう準備して参ります。

3.エコパ合同試走会(ドライバー)

小川 和也(機械工学科2年)

今回の走行は自分にとっては初めてのパイロンコースでの走行でした。車載映像やコース図をよく見て事前の予習はしましたが、いざコースに出てみると自分の感覚でしか感じられないことが多くあり最初の内は戸惑うことばかりでしたが、まずはコースと車に慣れることを意識し午前中の走行に望みました。途中でセッティングの変更もありましたが、自分の走行に集中することで精いっぱいになり挙動の違いを感じ取りうまく伝えることができなかったのがまだまだ未熟なところだと思いました。午後の走行では、車に慣れてきたことによりタイムを出すことに集中して走ることができました。徐々にタイムも上がり最終的にチームのエースのタイムに近いタイムを出すことができてとても濃密な試走会になりました。これから大会に向けてもっと腕を磨いていきたいと思います。



スポンサー

私達、千葉大学フォーミュラプロジェクトの活動は以下の企業、団体様よりご協力いただいております。このような貴重な勉強の場を与えて下さいましたことに、心よりお礼申し上げます。

※敬称略(五十音順)

企業・団体スポンサー様

Altrack	サイバネットシステム株式会社
出光興産株式会社	新宿ラヂエーター
エヌ・エム・ビー販売株式会社	スーパーオートバックス市川店
NTN 株式会社	住鋳潤滑剤株式会社
学校法人 日栄学園 日本自動車大学校	住友電装株式会社
株式会社 IHI	ソリッドワークス・ジャパン株式会社
株式会社今村商事	ダウ化工株式会社
株式会社エフ・シー・シー	タカタ株式会社
株式会社キノクニエンタープライズ	千葉大学
株式会社日下製作所	千葉大学 工学同窓会
株式会社城南キー	千葉大学材料加工学研究室 OB
株式会社デンソー	千葉大学フォーミュラプロジェクト OB
株式会社トーキン	東北ラヂエーター株式会社
株式会社東日製作所	トップラインプロダクト
株式会社トヨタレンタリース千葉	日信工業株式会社
株式会社ハイレックスコーポレーション	日本精工株式会社 (NSK)
株式会社深井製作所	日本発条株式会社
株式会社ミスミ	ビルドダメージ
株式会社メタルワークス	丸紅情報システムズ株式会社
株式会社ユタカ技研	ヤマハ発動機株式会社
株式会社レイズ	有限会社葵不動産
株式会社ワークスベル	有限会社茂原ツインサーキット
協和工業株式会社	レイクラフトレーシングサービス
京葉バンド株式会社	

個人スポンサー様

芦田 尚道
荒井 俊行
伊藤 裕
紺野 浩之
佐藤 陽
鈴木 明晃
田辺 真之
千葉 健太郎
戸井田 一宣
平柳 光
松崎 哲

Special Thanks

千葉大学工学部
千葉大学工学部実習工場
千葉大学自動車部
ホンダマイスタークラブ
レーシングガレージ ENOMOTO

今後も定期的に私たちの活動の様子をお伝えして参ります。

CUFP2014 活動報告書 Vol.9

発行：千葉大学フォーミュラプロジェクト

URL: <http://www.chiba-formula.com/>

2014 年度プロジェクトリーダー 桂祐樹

Mail: aaka2357@chiba-u.jp